

還る家とともに

かえるいえ

生と老いと病と死と、
喜びも悲しみも、ともに歩みたい……
誰もがいつでも
心の深呼吸ができる場所

〒244-0002 横浜市戸塚区矢部町1 2 5

電話 045-881-0348 FAX 045-881-0379

E-mail: mail@zenryouji.jp http://www.zenryouji.jp

発行責任 善了寺 還る家とともに

郡上踊りがやってきた！！



♪郡上のナァ〜♪

↓郡上舞紫のみなさん

岐阜県の郡上八幡に伝わる郡上おどりは、400年の歴史を誇ります。

江戸時代、土農工商の融和を図るため奨励され盛んになりました。今回は「郡上舞紫」という、郡上おどりをこよなく愛する若者たちが戸塚に来てくれました。

夕方から始まる本番の前に、デイサービスで歌と演奏を披露してくれました。間近で笛と三味線が鳴り、太鼓がドンドンと響き、大迫力でした！！



あじさいが満開♪

お寺のあじさいが満開になりました。毎回素敵な生け花を披露して下さる諏訪さんに、聞思堂の正面に置く花かごのアレンジをお願いしました。色とりどりのアジサイを用いて、見事、みずみずしく鮮やかな季節の花かごが出来上がりました！最後に記念撮影♡



諏訪さんの作品です♪



流しそうめんのお知らせ

今年も流しそうめんを行います。

ご家族、ケアマネジャーさん、地域の方大歓迎です！！

日時:7月16日(月)~21日(土) 時間:12:00~13:30頃

場所:善了寺境内にて 参加費:無料

881-0348までお気軽にお電話ください。多くの方のご参加をお待ちしています♪



みんなで、初夏の梅仕事

梅雨の晴れ間のある日の午後。

境内で採れた梅を使って、今年も梅ジュース作りが始まりました。

デイのフロアには梅の香りが漂い、ちゃぶ台には梅の実が山と積まれています。

スタッフも加わり、Mさん、Kさん、Tさん、いつもは「見てるだけよ…」なんて言っているYさんも自ら参加、みんなでちゃぶ台を囲み、手を動かしながら、おしゃべりにも花が咲きます!

一段落したところで、お茶とフキの煮物(もちろんお寺で取れたフキですよ♪)でひとやすみ。皆とてもいい笑顔、「みんなで食べるから美味しいんだよ」なんて言葉も飛び出して、なんだか本当の家族みたい(*^_^*)

梅ジュースができる頃、今年もまた暑い夏がやってきます。みんなで作った梅ジュースで、元気に夏をのりきりたいですね(*^_^*)/

〈私がお寺で働くようになって、2年が過ぎました。私たちスタッフを助けてくださるご門徒さん・ボランティアの方々、いつも本当にありがとうございます!!)

若林 明子



編集後記

「福祉って偽善みたい」と言われました。実際に私も、自分自身の事を、偽善者ではないかと悩んだ事もありました。でも、デイを7年やってみて思うに、他人のお年寄りの便が、直接顔についたり、目の前で、裸のお尻からおならされたり、おもらししていた座布団の上に誤って座ってしまったり、そんなことがあったら、偽りの善では、〇〇さん好き、なんて、とても言えないと思います。親にそんな汚い思いをさせられても、親子の絆は偽りではないように、汚い事も、傷つく事も毎日の中で繰り返されるけど、それでも〇〇さんの笑顔に会いたい、それが、福祉だと思います。福祉はその方の人生への尊敬を態度で表わすことだと思います。

また先日、失業した友人に「最後は、介護の仕事でもしなきゃかな?」と言いながら、会社の事務に再就職し「介護は最後の最後にした!」と言われました。「最初に福祉の仕事を目指した自分を否定された…」という主観的な怒りはともかくとして、「偽善」でも「最後の最後」でも良いから、若者よ、今日から、自力でトイレに行けなくなったらどうしますか?自力でご飯が食べれなくなったら?お風呂にはいれなくなったら?歩けなくなったら?しゃべれなくなったら?1分前の事も忘れるようになったら?

坊



ボランティアさん

ありがとう

「還る家ともに」では、日々ボランティアの皆さまに支えられています。日課の決まっていない自由な空間のなかで、ひとりひとりの時間に寄り添って過ごして下さっています。男性ボランティアさんも大歓迎。水曜日に出て下さる方も大歓迎です!ご連絡ください。見学もいつでもいらして下さい。

中嶋芳江 秦野かねよ 安藤信子 竹中秀子 大森英理亜 山下トキエ 寺山範子 西岡美都里 寺島美代 渡井敏子 朝倉好子 別府与志子 濱崎芳子 市野和歌子 弓削福子 矢口和子 秦野雅子 飯島慶子 米村正男 小寺久枝 江田峯子 中島雄子 長井万佐江 村井ヒテ子 江尻伸子 鳥巢スエ子 牛島寛子 橋本淑子 長澤チヨ子 福寿貴美恵 犬塚照夫 松村節子 秦野宣子 大金スエ子 松田良子 梅本忠男 小林ミエ 林ヨシ子 山田ヒロ子 増村隆 穴山よしお 高橋莉緒 大塚博行 敬称略

「福祉って偽善みたい」…この言葉について、私も考え、すぐには返す言葉が思いつかずにもやもやした思いを抱えていました。その後、あるケアマネさんに「サービスだけでは埋められない部分をたくさんフォローされていて、凄いですね」と言ったら「世の中には、年寄りだけでなく障害を持つ人や親のない子どもや、明日のことも見通せない生活をしている人がいっぱいいる。決められたサービスだけ提供してヨクッタデスネと言うのはおかしい。迷いながら話し合いながら、どうしたらいいのか、何ができるか考えてやっていくんだ。困っている人を助けて、それが福祉の原点だろう」と言われました。

私には、「それが人間だろう」に聞こえました。

福祉とは何か。介護とは何か。生まれて病んで老いて死んでいく営みを受け止め寄り添う、答えのない取り組み。本気で取り組む人の瞳には「偽善」なんて言葉が吹っ飛ばす、強いこころざしがあります。

隣にいる人が困ってる、たいしたことはできないけど、どうしたらいいか一緒に考えよう。そんな人間として当たり前の気持ちスタートだ、とも思います。こんなに奥深い仕事に、私は早くに出会えてラッキー♪最後の最後にしちゃうなんて、もったいな〜い。

吉田 彩

